

2017年3月期
決算説明会資料

2017年5月15日
(株)フジ・メディア・ホールディングス

本資料には当社及び当社の関係会社・出資先企業の見通し、目標、予想数値など、将来に関する記述が含まれている場合がありますが、実際の業績は今後の事業運営、経済情勢、金融市場その他の状況変化等さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

2017年3月期 連結決算概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	前 期	当 期	対前期増減	
売 上 高	640,572	653,976	13,404	2.1%
営 業 利 益	24,394	22,319	▲2,075	▲8.5%
経 常 利 益	32,400	30,380	▲2,020	▲6.2%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	22,835	27,396	4,560	20.0%

セグメント別の売上高及び営業利益

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

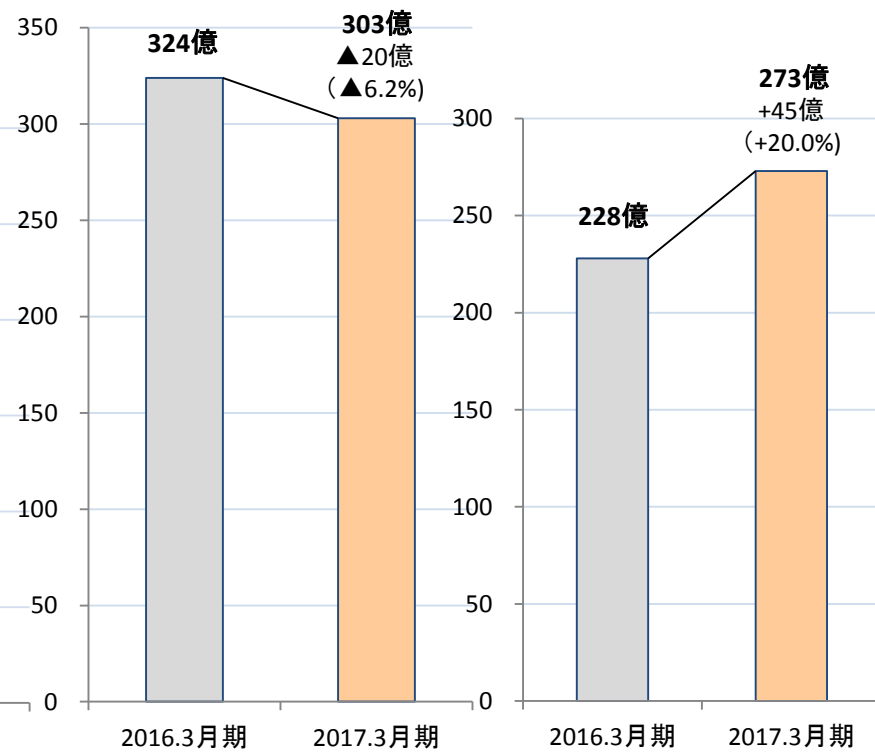
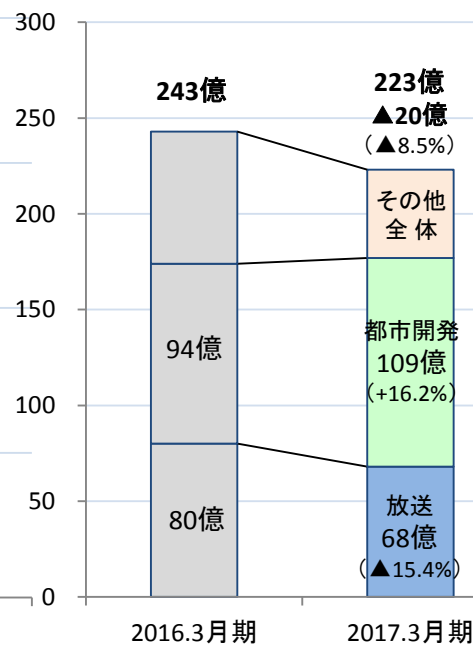
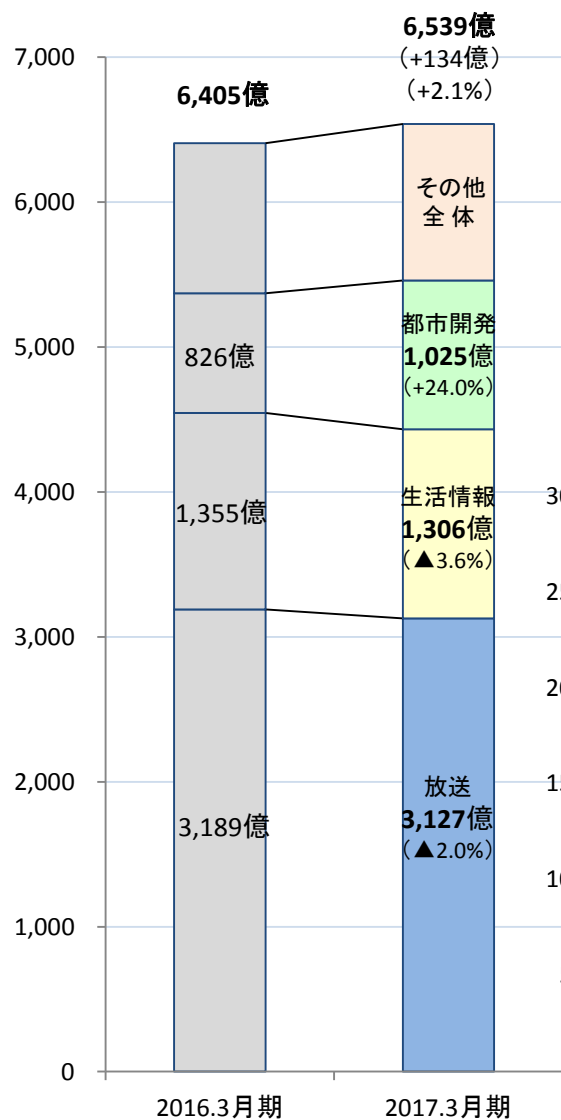
	事業セグメント									合計	調整額	連 損 計 算 上 結 益 書 額
	放 送 事 業	制 作 事 業	映 音 事 業	像 楽 業	生 活 報 業	広 告 事 業	都 開 事 業	市 発 業	そ の 他 事 業			
売上高	当期	312,721	49,292	48,071	130,694	45,476	102,501	29,221	717,979	▲64,003	653,976	
	前期	318,980	50,834	50,104	135,556	42,797	82,668	26,066	707,008	▲66,436	640,572	
	増減	▲6,258	▲1,542	▲2,032	▲4,862	2,678	19,833	3,155	10,971	2,433	13,404	
	増減%	▲2.0%	▲3.0%	▲4.1%	▲3.6%	6.3%	24.0%	12.1%	1.6%	—	2.1%	
営業利益	当期	6,830	1,819	1,071	952	384	10,968	245	22,271	47	22,319	
	前期	8,073	2,093	2,365	1,223	361	9,441	541	24,100	294	24,394	
	増減	▲1,243	▲274	▲1,294	▲270	23	1,527	▲296	▲1,828	▲246	▲2,075	
	増減%	▲15.4%	▲13.1%	▲54.7%	▲22.1%	6.6%	16.2%	▲54.7%	▲7.6%	—	▲8.5%	

2017年3月期 連結決算概要(前期比較)

<主要会社 営業利益内訳>

(単位:億円)

主要社	前期	当期	差額
フジテレビ	55	40	▲14
BSフジ	24	25	0
ポニーキャニオン	8	2	▲6
ディノス・セシル	12	8	▲4
サンケイビル	70	86	15
グランビスタ	27	19	▲8

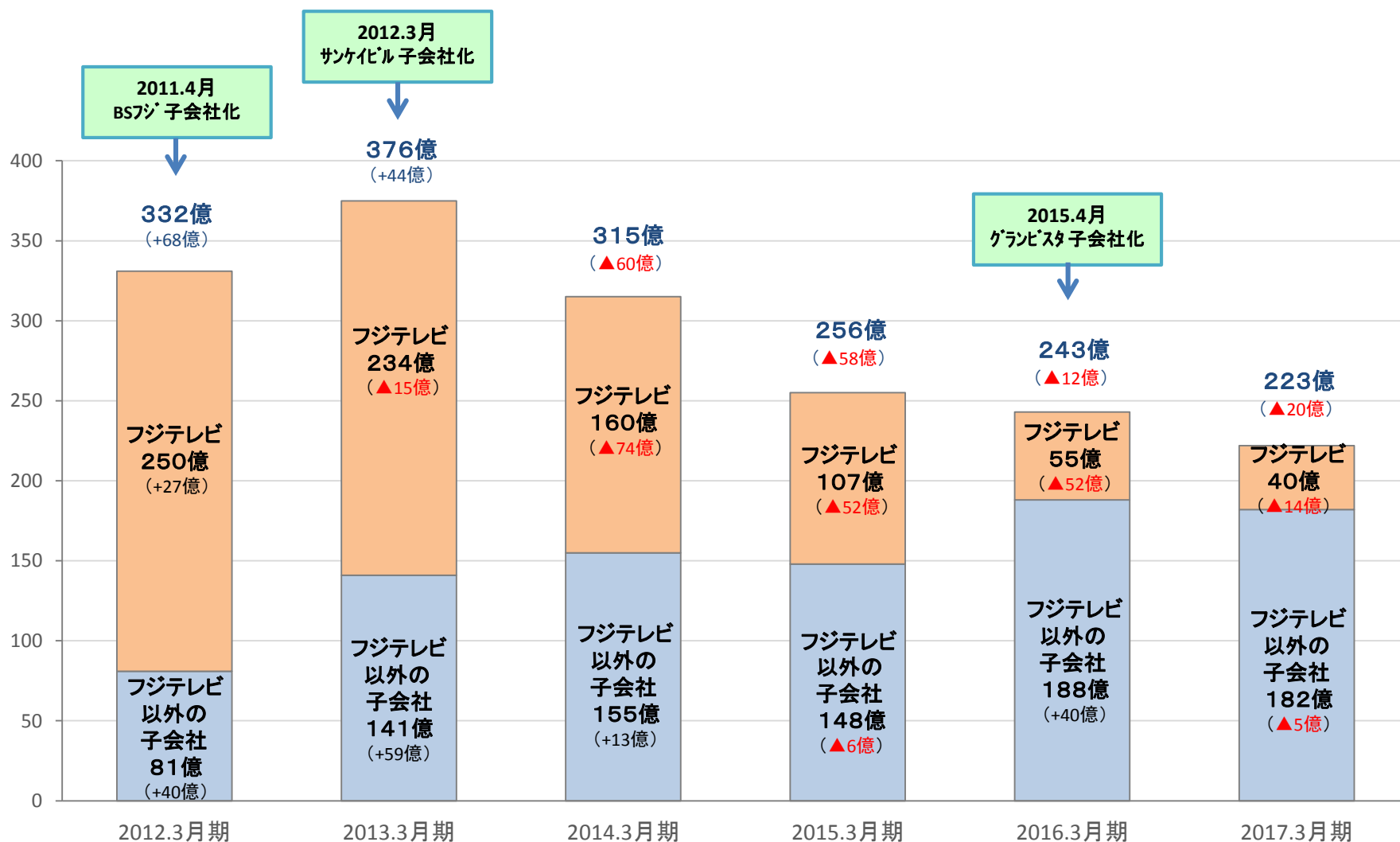


親会社株主に帰属する
当期純利益

2017年3月期 連結決算概要(年度推移)

通期連結営業利益 直近6年間の推移

※フジテレビ以外の子会社: 連結営業利益とフジテレビ営業利益の差額

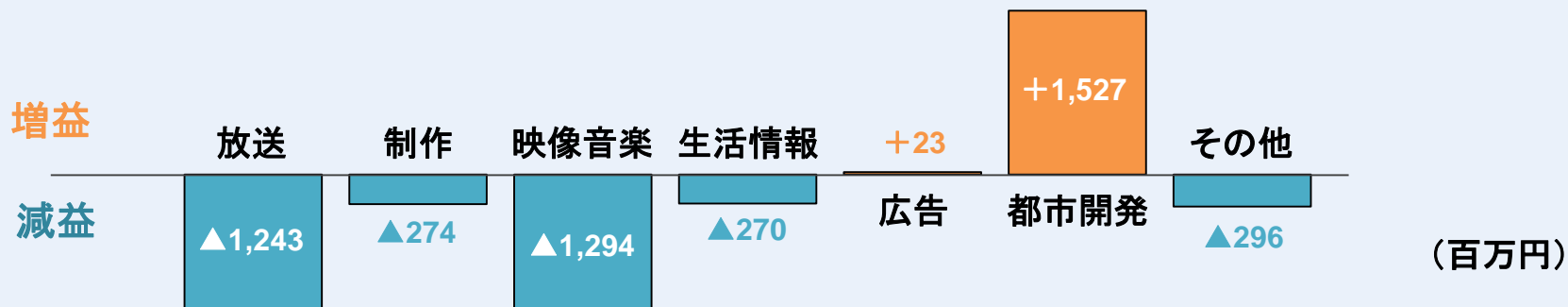


通期決算(4月-3月)のポイント

連結営業利益223億円

増収営業減益

営業利益 前期比較



フジテレビ

- 放送収入減収
- 放送外ではイベント事業が貢献
- 効率的な費用コントロールを継続

生活情報 (ディノス・セシール)

- 下期にカタログ通販が伸び悩み減収減益
- 在庫管理の強化、非効率なカタログの中止等で体質は改善

映像音楽

- ポニーキャニオンはパッケージ販売が不振、ノンパッケージは拡大
- 前期の楽曲著作権売却益の反動

都市開発 (サンケイビル/グランビスタ)

- 資産開発事業が大きく貢献
- ビル事業、住宅事業も堅調で増収増益
- グランビスタは改修工事の影響等で減収減益

<セグメント詳細> 放送事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
フジテレビジョン	289,708	280,550	▲9,157 (▲3.2%)	5,506	4,027	▲1,479 (▲26.9%)
ビーエスフジ	16,761	17,722	961 (5.7%)	2,487	2,571	84 (3.4%)
ニッポン放送	14,475	14,566	90 (0.6%)	46	42	▲3 (▲7.8%)
その他及び セグメント内修正等	▲1,964	▲117	—	33	188	—
合計	318,980	312,721	▲6,258 (▲2.0%)	8,073	6,830	▲1,243 (▲15.4%)

<セグメント詳細>制作事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
共同テレビジョン	15,785	14,637	▲1,147 (▲7.3%)	206	356	150 (73.2%)
フジクリエイティブ コーポレーション	14,162	14,208	45 (0.3%)	974	1,128	154 (15.8%)
その他及び セグメント内修正等	20,886	20,446	—	913	333	—
合計	50,834	49,292	▲1,542 (▲3.0%)	2,093	1,819	▲274 (▲13.1%)

<セグメント詳細>映像音楽事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ポニーキャニオン	35,611	33,937	▲1,674 (▲4.7%)	830	225	▲605 (▲72.9%)
その他及び セグメント内修正等	14,492	14,134	—	1,535	845	—
合 計	50,104	48,071	▲2,032 (▲4.1%)	2,365	1,071	▲1,294 (▲54.7%)

<セグメント詳細>生活情報事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
ディノス・セシール	119,662	115,422	▲4,239 (▲3.5%)	1,269	816	▲453 (▲35.7%)
サンケイリビング新聞社	10,356	9,768	▲587 (▲5.7%)	▲248	6	254 (-)
その他及び セグメント内修正等	5,538	5,503	—	202	130	—
合 計	135,556	130,694	▲4,862 (▲3.6%)	1,223	952	▲270 (▲22.1%)

<セグメント詳細> 広告事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位: 百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
クオラス	42,797	45,476	2,678 (6.3%)	361	385	23 (6.6%)
セグメント内修正等	—	—	—	▲0	▲0	—
合計	42,797	45,476	2,678 (6.3%)	361	384	23 (6.6%)

<セグメント詳細>都市開発事業 会社別概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	売上高			営業利益		
	前期	当期	前期比	前期	当期	前期比
サンケイビル	44,718	64,103	19,385 (43.3%)	7,055	8,625	1,569 (22.2%)
グランビスタ ホテル&リゾート	28,563	27,835	▲727 (▲2.5%)	2,770	1,922	▲847 (▲30.6%)
その他及び セグメント内修正等	9,386	10,562	—	▲384	421	—
合計	82,668	102,501	19,833 (24.0%)	9,441	10,968	1,527 (16.2%)

営業外収益・費用の主な内容

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
営業外収益					
受取配当金		2,255	2,452	197	8.7%
持分法による 投資利益		4,786	4,317	▲468	▲9.8%
その他		3,899	3,777	▲122	▲3.1%
営業外収益合計		10,941	10,547	▲394	▲3.6%
営業外費用					
支払利息		1,679	1,447	▲232	▲13.8%
投資事業組合 運用損		466	279	▲187	▲40.1%
その他		789	759	▲29	▲3.8%
営業外費用合計		2,935	2,486	▲449	▲15.3%

特別利益・損失の主な内容

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

		前 期	当 期	対前期増減	
特 別 利 益					
固 定 資 産	売 却 益	1	1,179	1,177	—
負 債	の 生 産 益	—	4,253	4,253	—
そ の 他		407	294	▲112	▲27.6%
特 別 利 益 合 計		408	5,728	5,319	—
特 別 損 失					
減 損 損 失		825	949	123	15.0%
建 替 関 連 損 失		229	463	233	101.7%
段 階 取 得	に よ る 差 損	—	1,296	1,296	—
そ の 他		1,596	567	▲1,029	▲64.5%
特 別 損 失 合 計		2,652	3,276	624	23.6%

セグメント情報(連結子会社)

セグメント	会社名	会社数
放送	フジテレビジョン、ビーエスフジ、ニッポン放送、 仙台放送	4社
制作	フジクリエイティブコーポレーション、共同テレビジョン、バスク、フジ・メディア・テクノロジー、NEXTEP、フジアール、バンエイト、共同エディット、ベイシス	9社
映像音楽	フジ・ミュージックパートナーズ、ポニーキャニオン、ポニーキャニオンエンタープライズ、エグジットチューンズ、フジパシフィックミュージック、シンコーミュージック・パブリッシャーズ、FUJI MUSIC GROUP、ARC MUSIC、ARC/CONRAD MUSIC	9社
生活情報	サンケイリビング新聞社、ディノス・セシール、リビングプロシード、ディノス・セシールコミュニケーションズ	4社
広告	クオラス	1社
都市開発	サンケイビル、グランビスタホールディングス、 甲子園開発 、サンケイ会館、グランビスタホテル&リゾート、サンケイビルウェルケア、サンケイビルテクノ、サンケイビルマネジメント、 SKB USA 、 SKB Seattle	10社
その他	扶桑社、フジミック、ニッポン放送プロジェクト、 フジゲームス 、フジキャリアデザイン、FUJISANKEI COMMUNICATIONS INTERNATIONAL	6社
合計		43社

※赤色は当期から連結

フジテレビの業績

2017年3月期 フジテレビ決算概要

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	前期	当期	対前期増減	
売上高	289,708	280,550	▲9,157	▲3.2%
営業利益	5,506	4,027	▲1,479	▲26.9%
経常利益	6,284	4,540	▲1,743	▲27.7%
当期純利益	3,348	2,823	▲525	▲15.7%

放送事業 収入と原価

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
放送事業収入	235,056	▲11,957	▲4.8%
放送収入	201,498	▲12,127	▲5.7%
ネットタイム	87,635	▲7,191	▲7.6%
ローカルタイム	13,037	▲964	▲6.9%
スポット	100,826	▲3,971	▲3.8%
その他 放送事業収入	33,557	169	0.5%
番組販売	17,593	▲316	▲1.8%
C S 放送・その他	15,964	485	3.1%
放送事業原価	161,882	▲6,866	▲4.1%

スポット収入 業種別動向

2017年1月～3月

※管理ベース

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
化粧品・トイレタリー	11.5%	11.5%	▲6.7%
情報・通信・放送	14.0%	10.4%	▲30.6%
食品	7.2%	8.8%	13.5%
外食・各種サービス	9.8%	8.4%	▲20.0%
自動車・関連品	6.5%	7.4%	5.6%
金融・保険	7.5%	7.3%	▲10.1%
出版・エンタテインメント	6.2%	5.9%	▲10.6%
非アルコール飲料	4.9%	5.8%	10.2%
医薬品・医療用品	5.8%	5.2%	▲17.0%

業種	前年シェア	シェア	対前期増減
不動産・住宅設備	3.5%	4.8%	28.8%
衣料・身回品・雑貨	3.7%	4.3%	6.2%
電話サービス	3.5%	3.8%	0.2%
流通・小売業	3.8%	3.8%	▲6.8%
事務・精密・光学機器	2.8%	3.5%	17.6%
交通・レジャー・観光	3.2%	3.4%	▲0.8%
アルコール飲料	2.7%	2.1%	▲24.9%
家電・AV機器	1.0%	1.3%	14.1%
エネルギー・機械	0.7%	1.0%	29.2%
その他	1.8%	1.5%	▲22.4%

番組制作費

(単位:百万円)

	前期	当期	増減
第1四半期	22,206	21,599	▲2.7%
第2四半期	27,307	23,619	▲13.5%
上期	49,514	45,218	▲8.7%
第3四半期	22,881	21,709	▲5.1%
第4四半期	20,840	21,295	2.2%
下期	43,722	43,004	▲1.6%
通期	93,236	88,223	▲5.4%

※自社制作番組及び購入番組の直接費

その他事業 収入と原価

《2016/4～2017/3》

(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
その他事業収入	45,493	2,800	6.6%
催物事業収入	17,784	6,644	59.6%
映画事業収入	8,369	▲1,293	▲13.4%
デジタル事業収入	7,198	▲1,103	▲13.3%
MD事業収入	5,058	▲518	▲9.3%
ビデオ事業収入	2,274	▲615	▲21.3%
その他の収入	4,808	▲314	▲6.1%
その他事業原価	37,682	2,399	6.8%

販管費及び営業外損益概要

《2016/4～2017/3》

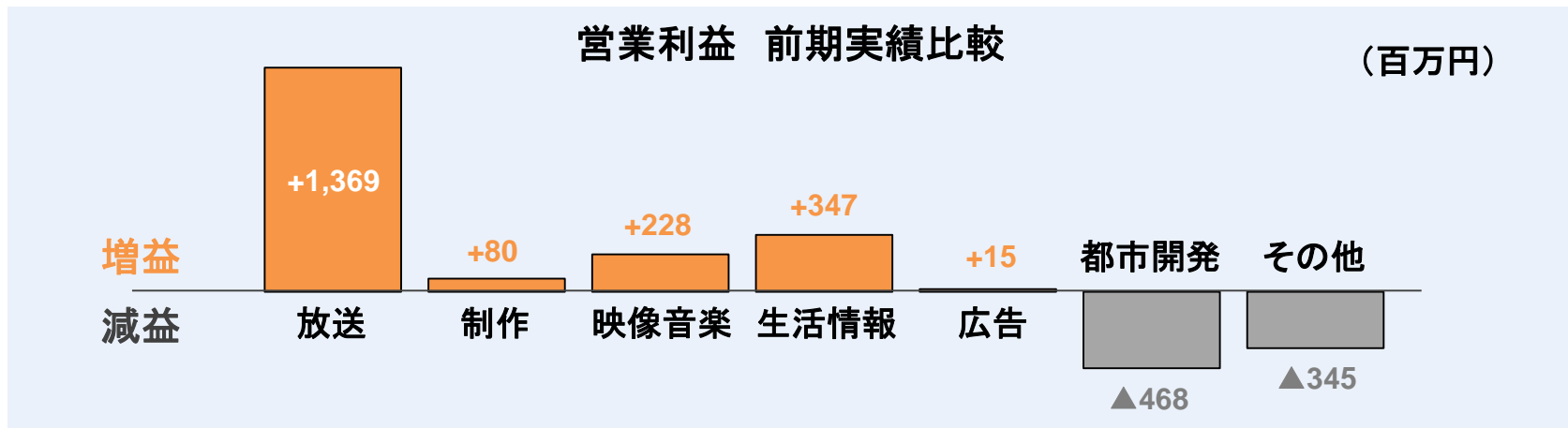
(単位:百万円)

	当期	対前期増減	
販売費及び 一般管理費	76,958	▲3,211	▲4.0%
販売費	54,308	▲2,954	▲5.2%
一般管理費	22,650	▲257	▲1.1%
営業費用合計	276,523	▲7,678	▲2.7%
営業利益	4,027	▲1,479	▲26.9%
営業外収益	891	▲170	▲16.0%
営業外費用	377	94	33.3%
経常利益	4,540	▲1,743	▲27.7%

2018年3月期 業績予想

業績予想のポイント

連結営業利益予想235億円 増収営業増益を見込む



フジテレビ

- 放送収入はタイム収入の減収を予想
- 効率的なコスト運用を継続、業績改善を図る

生活情報 (ディノス・セシール)

- 積極的な販促など売上拡大策で増収増益を見込む
- インターネットを活用し新規顧客獲得を加速

映像音楽 (ポニーキャニオン)

- 「進撃の巨人」シーズン2など期待作をラインナップ
- アニメ製作への参画など権利取得を強化、幅広い収益の獲得を目指す

都市開発 (サンケイビル/グランビスタ)

- 資産開発事業 引き続き業績貢献を見込む
- 新規オフィスビルが順次開業 収益基盤が拡大
- グランビスタは、引き続きホテルの高い稼働を見込む

2018年3月期 業績予想

(単位:百万円)

連結	上期		下期		通期		
	前期	当期予想	前期	当期予想	前期	当期予想	増減
売上高	327,601	317,900	326,374	343,600	653,976	661,500	1.2%
営業利益	13,301	9,100	9,017	14,400	22,319	23,500	5.3%
経常利益	17,735	12,800	12,644	17,700	30,380	30,500	0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,732	8,800	14,663	12,500	27,396	21,300	▲22.3%

(単位:百万円)

フジテレビ	上期		下期		通期		
	前期	当期予想	前期	当期予想	前期	当期予想	増減
売上高	144,165	134,000	136,385	136,400	280,550	270,400	▲3.6%
営業利益	2,305	1,000	1,721	4,200	4,027	5,200	29.1%

	上期予想	下期予想	通期予想	
ネットタイム	▲11.9%	▲2.9%	▲7.6%	
ローカルタイム	▲0.3%	▲0.2%	▲0.3%	
スポット	0.1%	2.2%	1.2%	
放送収入合計	▲5.4%	▲0.1%	▲2.7%	(前期比)

セグメント別業績予想【通期】

《2017/4～2018/3》

(単位:百万円)

	事業セグメント									合計	調整額	連 損 計 算 上 結 益 書 額
	放送 事業	制作 事業	映音 事業	像楽 業	生情 事	活報 業	広告 事 業	都開 事 業	市発 業			
売上高	2018.3月期 通期予想	300,900	50,400	50,000	135,700	43,500	106,900	31,800	719,200	▲57,700	661,500	
	2017.3月期 通期	312,721	49,292	48,071	130,694	45,476	102,501	29,221	717,979	▲64,003	653,976	
	増減%	▲3.8%	2.2%	4.0%	3.8%	▲4.3%	4.3%	8.8%	0.2%	—	1.2%	
営業 利益	2018.3月期 通期予想	8,200	1,900	1,300	1,300	400	10,500	▲100	23,500	0	23,500	
	2017.3月期 通期	6,830	1,819	1,071	952	384	10,968	245	22,271	47	22,319	
	増減%	20.0%	4.4%	21.4%	36.5%	3.9%	▲4.3%	—	5.5%	—	5.3%	

セグメント別業績予想【上期】

《2017/4～2017/9》

(単位:百万円)

	事業セグメント									合計	調整額	連損 計算上	結益 書額
	放送 事業	制作 事業	映像 音楽 事業	生活 情報 事業	広告 事業	都市 開発 事業	その他 事業						
売上高	2018.3月期 上期予想	148,100	25,000	25,600	63,500	21,500	47,000	15,000	345,700	▲27,800	317,900		
	2017.3月期 上期	158,641	24,186	23,134	61,738	22,199	55,893	14,181	359,975	▲32,374	327,601		
	増減%	▲6.6%	3.4%	10.7%	2.9%	▲3.1%	▲15.9%	5.8%	▲4.0%	—	▲3.0%		
営業利益	2018.3月期 上期予想	2,600	900	500	0	200	4,800	100	9,100	0	9,100		
	2017.3月期 上期	3,512	1,008	180	▲24	132	8,039	351	13,200	100	13,301		
	増減%	▲26.0%	▲10.8%	176.9%	—	50.7%	▲40.3%	▲71.5%	▲31.1%	—	▲31.6%		

設備投資計画と減価償却費

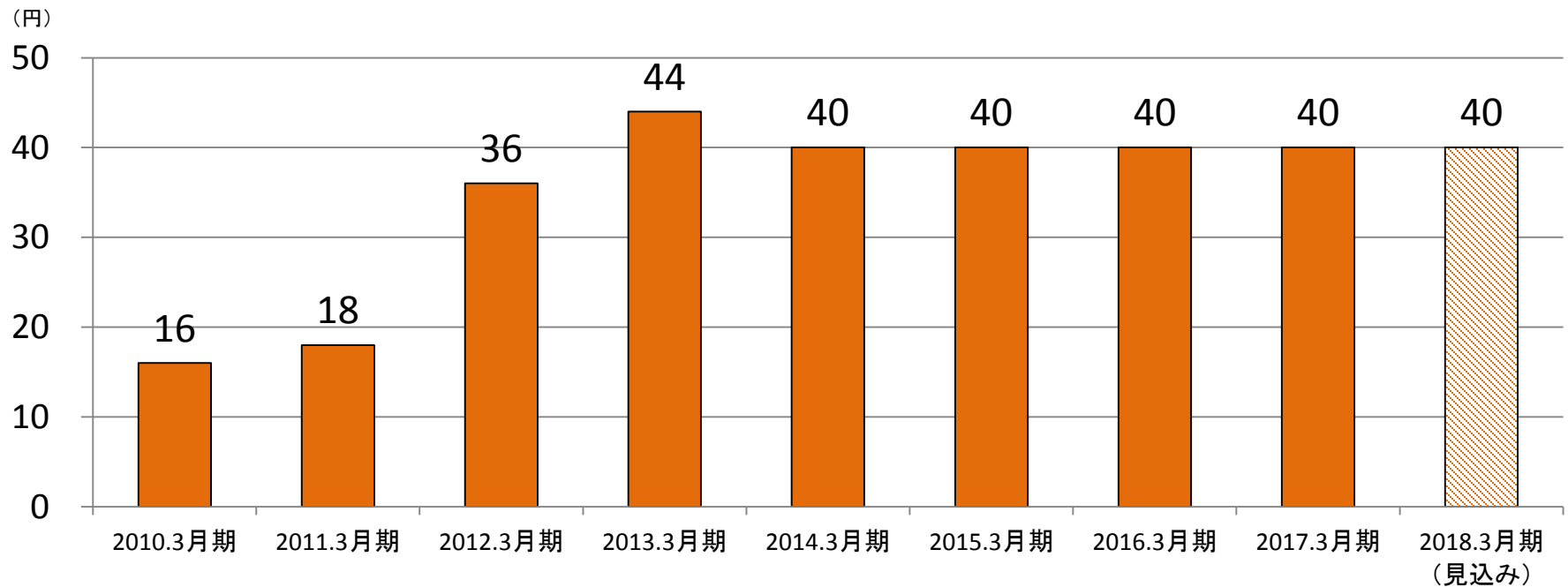
(単位:百万円)

		2017年3月期 通期 (実績)	2018年3月期 通期 (計画)	2019年3月期 通期 (計画)
設備投資額	連 結	39,957	48,100	44,200
	フジテレビ	4,590	9,800	11,000
	都市開発事業	30,331	34,200	28,300
	フジ・メディアHD	444	800	800
減価償却費	連 結	18,307	18,400	21,300
	フジテレビ	7,833	7,800	9,200
	都市開発事業	4,605	4,400	6,000
	フジ・メディアHD	2,273	2,400	2,000

株主への利益還元

目標配当性向40%を基本に配当の安定性等を考慮

2017年3月期 期末配当 20円 年間配当 40円
2018年3月期 年間配当 40円（見込み）



※単元株制度の導入に伴い、2013年10月1日を効力発生日として1株につき100株の割合で株式分割を行いました。過去の配当実績は分割後の株式数で算定した値を記載しています。

各社の取り組み

フジテレビ 編成

- 4月改編 GP帯強化へバラエティ新番組を投入
キッズ、ティーン、20歳代～40歳代を中心に、幅広い層からの支持獲得を目指す

◆4月スタートの 新番組

火曜20時



『潜在能力テスト』

水曜22時



『良かれと思って!』

土曜19時



『金の正解! 銀の正解!』

◆4月クールドラマ

月曜21時

『貴族探偵』



貴族探偵

木曜22時

『人は見た目が100パーセント』



日曜21時

『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』



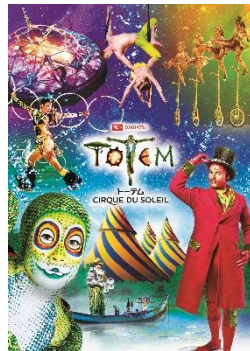
- 全日帯の視聴率 引きつづき堅調に推移
昼帯バラエティ「バイキング」の人气が定着 午後にかけて視聴率が向上

フジテレビ 放送以外の事業

イベント事業

■シルク・ドゥ・ソレイユ 「トータム」

累計動員数(5/10現在)
133万3,200人の大ヒット
仙台で最終公演
(2017年5月21日まで)



■2017年度 期待の新企画イベント

フェルサ ブルータ「WA!」

“常識と重力を凌駕する”
究極の体験型エンターテイメント

2017/8/1～2017/9/30
品川 ステラボール



「怖い絵展」

「恐怖」を切り口にした斬新な視点で
西洋絵画・版画の魅力に迫る展覧会

2017/10/7～2017/12/17
上野の森美術館

映画事業

■2017年度の主なラインナップ

4月29日	帝一の國 生徒会長の座を狙い、名門私立男子校で繰り広げられる派閥闘争を描いたコメディ 出演:菅田将暉 他
6月10日	昼顔 2014年に放送され、社会現象となった連続ドラマを映画化 出演:上戸彩 斎藤工 伊藤歩 平山浩行 他
7月22日	心が叫びたがってるんだ。 2015年に大ヒットを記録した劇場版オリジナルアニメを実写映画化 出演:中島健人 芳根京子 石井杏奈 他
9月9日	三度目の殺人 『そして父になる』など数々の大ヒットを生んだ是枝裕和監督の最新作 出演:福山雅治 役所広司 広瀬すず 他
10月21日	ミックス。 大ヒットドラマ「リーガル・ハイ」の脚本家・古沢良太さんの最新作 卓球ロマンティックコメディ 出演:新垣結衣 瑛太 他



「帝一の國」



「昼顔」



「心が叫びたがってるんだ。」

■外部プラットフォームへの配信権の 販売が収益貢献

成長分野での取り組み

番組配信事業

- 自社制作コンテンツを強みとする
ユニークな総合プラットフォーム
事業収支の黒字が定着 2017年度も増収増益を目指す



有料会員数
80万人
月間利用者数
(無料コンテンツ利用者を含む)
400万人

2017年度の方針

- FODプレミアム(定額制/月額888円)を主力サービスと位置づけ、無料配信(見逃し)で利用者数を拡大
- オリジナル番組のラインナップ強化
年間500時間を制作(前年比約3倍)
- ターゲットを明確化
オリジナルドラマ → T~F1層
オリジナルバラエティ → M1・M2層
共同制作ドラマ → 幅広い層

サービスの「導線」強化

- 配信広告収入の拡大
- FODプレミアムへの送客
- 都度課金サービス利用で顧客単価アップ



バラエティ
「あいのり REBOOT」
Netflixとの
共同制作

ドラマ
「Love or Not」
dTVとの共同制作



- 無料広告配信で独自に視聴データを収集、蓄積
ニーズに対応した豊富なセールスメニューの設定が実現 配信広告収入の拡大を目指す
- 引きつづき、大手プラットフォームにもFODオリジナル作品等を提供し収益の多角化を図る

成長分野での取り組み

ゲーム事業

フジゲームス 2016年4月設立

【ゲーム事業の目標】

2020年頃 売上高100億円 営業利益20億円
グループの収益の柱のひとつへ

テレビ局発のゲーム会社として、企画プロデュース力、プロモーション連動等に強み
リリース作の着実なヒットと、ゲーム発のコンテンツビジネスの拡大を狙う

●フジゲームスとして初のタイトルを2017年夏リリースへ

「ORDINAL STRATA(オーディナル ストラータ)」



(株)マーベラスとの協業
ドラマチックファンタジーRPG



X JAPANのToshi氏がテーマ曲などをプロデュース

2016年度、2017年度は開発費が先行

2018年度より2~3作のタイトルのリリースを目指し、開発に着手

●Fuji&gumi Gamesを2017年度から連結、収益に貢献

3タイトルが引き続き好調

主要子会社の取り組み

放送事業 (BSフジ)

➤ 4月改編

オリジナル企画と、視聴習慣がつか
分かりやすいタイムテーブルで
媒体価値の向上と放送収入の拡大を図る

① 平日GP帯の帯編成を強化

「クイズ！脳ベルSHOW」 毎週月～金曜 22時～22時55分



人気のクイズ番組を、
月-木から月-金へ放送枠拡大
『プライムニュース』につづく
看板番組として成長中

② 曜日・時間ごとに、よりターゲットを意識した編成

平日デイトタイム+19時台 → ドラマソフトの強化
日曜8時～11時 → キッズ・ティーン層を開拓
平日23時台 → 次世代のBS視聴者を開拓
平日24時台 → アニメファンほか若年層の開拓と
海外展開企画の開発

➤ 引きつづき、制作費の効率的な運用を図る

映像音楽事業 (ポニーキャニオン)

➤ パッケージに頼らない構造へ改革を加速 人気アニメの製作に積極的に参画

テレビ放送、劇場映画、イベント、ネット配信、グッズ、
海外展開などで収益拡大を目指す



「進撃の巨人」

第2シーズンが4月より放送開始
配信、グッズ販売、音楽など
多様な収益貢献を期待

「ボールルームへようこそ」

7月よりアニメ放送開始
イベント、MD、Blu-ray/DVD等



➤ 映画配給ビジネスが貢献

「ラ・ラ・ランド」

アカデミー賞で6部門を受賞
興収40億円を超える大ヒットを記録
配給、配信、パッケージでも利益貢献見込む



主要子会社の取り組み

生活情報事業 (ディノス・セシール)

- 消費動向や顧客ニーズの変動に対応した商品の開発・投入で増収増益を目指す
- 在庫コントロール、不採算カタログの見直し等で収益体質の一層の改善を図る

売上拡大のための施策

- 顧客へのアプローチ強化
 - ・SNSを活用した販促強化
 - ・Webサイトのリニューアル
 - ・TVCMの有効活用
 - ・eコマース分野の拡充
- カタログの最適化
 - ・新ブランドカタログの創刊や総合カタログの発行
 - ・各カタログの発行時期、部数の柔軟な見直し
- 新ビジネスの推進



女優の長谷川京子さんを起用
SNSを通じて積極的に販促

都市開発事業 (サンケイビル／グランビスタ)

- オフィスビル、住宅、ホテルが順次開業へ

ビル事業

- 都心の好立地に絞り、高機能ビル「S-GATE」シリーズを展開



「S-GATE大手町北」
「X-PRESS有楽町」
managed by S-GATE
今春開業

- 既存ビルの再開発、ホテルへの転換、売却等で収益性向上を図る

住宅事業

- 分譲マンションと、市況に左右されにくい賃貸レジデンスをバランスよく開発

ホテルリゾート事業

- 観光・MICE需要が高い都市部で開発
- 新コンセプトのホテルシリーズも投入へ

- P. 32 : Photos: OSA Images, Matt Beard Costumes: Kym Barrett © 2010, 2014 Cirque du Soleil © 2015 Fuji Television
- P. 32 : photo by Keiko Tanabe
- P. 32 : ポール・ドラローシュ《レディ・ジェーン・グレイの処刑》1833年
ロンドン・ナショナルギャラリー蔵
© The National Gallery, London. Bequeathed by the Second Lord Cheylesmore, 1902
- P. 32 : © 2017 フジテレビジョン 集英社 東宝 © 古屋兎丸／集英社
- P. 32 : © 2017 フジテレビジョン 東宝 FNS27社
- P. 32 : © 2017 映画「心が叫びたがってるんだ。」製作委員会 © 超平和バスターズ
- P. 34 : © Fuji Games
- P. 35 : © 諫山創・講談社／「進撃の巨人」製作委員会
- P. 35 : © 竹内友・講談社／小笠原ダンススタジオ
- P. 35 : © 2017 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.